

# 「みやざきの教育」ブックレットシリーズを創刊しました

## 創刊のことば

宮崎大学は、全国の多くの大学に先立ち、2008年に教職大学院を設置しました。本学教職大学院は、15年の歳月を経て、350名以上の修了生を輩出してきました。修了生には、教育委員会の指導主事や、学校の校長や教頭、主幹教諭、指導教諭などの役職についている方々も多くいます。

本学部附属教育協働開発センターは、2013年に教師教育部門と授業研究部門の2部門に整理し、宮崎県教育庁派遣研究生の受入れに加えて、宮崎県教育研修センターや宮崎県教職員課、市町村教育委員会と協働し、学校を単位とした授業研究や指導教諭等と協働した教員研修の構築などに取り組んできました。教職大学院修了生のみならず、学校現場で学び続ける教師は、既存のルールや価値観に縛られることなく新たなしくみを構築したり、子どもたちの世界から学び日々新しくなる自分と出会ったり、子どもたちの未来を想像しながら時代の変化に対応した教育を創造したりしています。

本シリーズは、そうした宮崎県内の教師にも協力を得ながら、宮崎にあるしなやかな志や多角的な取り組みを紹介していきます。実践との協働や成果を広く社会に提供することで、日々変化し続ける子どもたちの世界に参加し、ものの見方・考え方を更新し続けるような教師が多様に生まれ、未来の子どもたちがさらにより良い教育を受けることをめざしています。本シリーズの一冊一冊は、教師の多彩な経験と学びを大切にしています。読者のみなさまにも、ゆっくりと違いをおもしろがり、じっくりと違いの中に同じところを見つけていただくことで、教育の豊かさを発見できるようにと編集しています。

本学部は、2016年度に小中一貫教育コース、教職実践基礎コース、発達支援教育コースという3つのコースからなる教育学部として新たなスタートを切りました。そのさい、教職実践基礎コースでは、宮崎県の小学校教員を希望する人を対象とした「宮崎県教員希望枠」という新しい推薦入試を開始しました。現在、「宮崎県教員希望枠」の推薦入試を小中一貫教育コース小学校主免専攻にも拡大して、宮崎県の教育を担う小学校教員の養成に向けて各コースのカリキュラムや育成プログラムを充実させています。今後は、宮崎県教育委員会と協力しながら教員として活躍する卒業生を支援することも計画しています。本学部は、教員養成を目的としていますが、自己を更新する学びを生涯にわたって深めていく教師にとって、いつでも立ち返ることのできる始まりの場所でありたいと思っています。

教員としてただ年をとるのではなく、教師になっていく。教師になるあなたの味方になるような一冊として、何度も読まれる本になればと願っています。シリーズの第一弾は、「教職という仕事への誘い」です。不完全さを大切にしながら、もう一度前向きに、日々子どもたちとともに世界を創りなおしていく。そうした教師の生き方にふれることができれば幸いです。



みやざきの教育

BOOKLET SERIES Vol.1



ISBN:9784860619121

竹内元・佐々敬政・興津紀子・藤本将人 編

宮崎大学教育学部 著

『教壇から見える景色のこと 先生！教師になるってどんな感じ？』

鉾脈社

2025年3月11日刊行

教師が語る教職の魅力には、教育実践の展望と教職の未来を考えていく上で、見失ってはいけない基盤があります。教師の予想をこえて多元的に問いがひらかれていく、あるいは、子どもの側から自分自身と学校を見つめ直したり、自分自身が書き替わったりする。本書には、子どもたちと出会いと学びを重ねる教師の生き方があります。

子どもとともに学び続ける教師のものの見方とエピソードを中学生・高校生に語るように、スーパーティーチャーに書いていただくとともに、見慣れた教室にある奥深さ、子どもたちには見えない配慮や工夫、いつもの授業に潜んでいる先生の意図などを記述しました。日々子どもたちと格闘している教師からにじみ出る言葉にならない声をしていねいに聴きながら、「先生とは何か」「教師とは何か」「教職の専門性とは何か」を探究しつつ、教壇から見える世界を描きました。

本書は、宮崎県教員希望枠を基軸とした質の高い教員を輩出する「みやざき教員育成システム」の構築事業の一環として制作しています。